

赤嶺 謙二



「まちなづくり計画」
どうなっている

質問

「合併して一つも良いことがない」という声に代表されるように、合併協議会が昨年出した基本計画は十分に理解されてない。年度ごとの具体的な実施計画を、いまこそ市民に示すべきでは。

答弁 市長

現在、総合計画の策定に取り組んでいます。

平成18年度から、基本構想は10年間、基本計画は5年間とし、18年の12月議会に提案したい。

具体的な実施内容は3年間計画で取りまとめをしたと思います。

職員配置の適正化

質問

ただ単に職員や給与を減らすだけでは、本市の未来はない。小さな行政・事業・サービスとなるだけだ。

計画に基づいた組織・機構の見直し、その事務量によって職員配置の適正化を図るべきと考えるが。

答弁 市長

現在の職員数は857名、類似団体と比較すると182名多い状態。

本年中に集中改革プランを策定し、方針に沿った職員数の計画的な削減と管理組織・機構の見直し、職員の適正配置を行っていききたいと思います。



プレハブづくりの本庁第2庁舎

質問

危機感を共有するために、財政状況の四半期ごとの公表を。

答弁 市長

情報公開の観点から、時期を考えて公表します。

高山 豊吉



台風14号への 対応と検証

質問

避難勧告の発令は。

答弁 市長

市内各地で多大な被害が発生しました。

犬飼町でも旧犬飼小学校跡地の浸水により消防団長・副団長・支所長が協議。現状報告を本庁災害対策本部が受け、市長名で避難勧告を発令しました。

質問

消防団や自治委員との連携。

答弁 市長

避難勧告発令により犬飼支所から地元の自治委員に連絡。消防団と自治委員と一緒に避難場所まで誘導しました。

どうする？

今後の取り組み

質問

地域防災計画は。

答弁 市長

台風時には新しい地域防災計画は策定中でした。内容は市報などに掲載し、理解と協力を得たいと考えています。

質問

災害復旧の状況を問う。

答弁 市長

現在、国の災害査定途中であり、終了次第、順次工事の発注を行いたい。



水没した河川公園（犬飼支所下）

質問

浸水が想定される区域の防災事業は。

答弁 市長

計画に基づき河川改修などを考えています。今後はさらに災害対策、危機管理を強めていきたい。

※その他

防災無線について